

# AP ラジエターリークテスターの使い方

## ●本製品の仕様・特徴

- ラジエターを通して冷却水路に加圧することで、破損や冷却水の漏れを点検出来ます。
- 付属のアタッチメントを取り替えることで、様々な国産自動車、一部輸入車に対応出来ます。  
(※一部使用出来ない車輛もあります。)
- ラジエターキャップの開弁圧の点検も出来ます。
- 大きく見やすい水温計付き。
- 収納・保管に便利な専用ケース付き。

## ■入り組み内容



- 0：水温計・・・・・・・・・・冷却水の温度を測定します
- 1：ポンプASSY・・・・・・・・・・加圧ポンプ、ホース&カブラ、リリースバルブが一体です。
- 2-A：コネクター(黒)・・・・・・・・ラジエターキャップの開弁圧を点検する時に使用します。
- 2-B：コネクター(青)・・・・・・・・ラジエターキャップの開弁圧を点検する時に使用します。
- 3：ラジエターアダプター・・・・ラジエター本体に装着します。(主に輸入車に使用します。)
- 4：ラジエターアダプター・・・・ラジエター本体に装着します。
- 5：ラジエターアダプター・・・・ラジエター本体に装着します。

## ■使用方法 [ 冷却水漏れの点検 ]

※必ずエンジン停止状態で使用してください。また、エンジン停止直後には作業を行わないでください、キャップを緩めた際、冷却水が噴き出してくるなど、非常に危険です。  
時間を置き、エンジンが冷めた状態で行うようにしてください。

- ラジエターキャップを外し「3～5」の内、適合するサイズのアダプターを取り付けます。



- 「1」のポンプASSYをアダプターに取り付け、ゲージを見ながらポンピングします。



- 最高値がゲージ外周の「1.3」を超えないように注意しながら、慎重に加圧してください。



※本体ゲージ表記の外側の数値を「kgf/c m<sup>2</sup>」として読みます。

**\* 1kgf/c m<sup>2</sup> ≒ 1bar**

※過度に圧力を加えると、冷却水路を破損する恐れがあります。

- 冷却水漏れを起こしている場合、加圧した圧力により冷却水が漏れてきますので容易に漏洩箇所を発見出来ます。

※漏れている箇所がヒーターコアなどの場合、室内に冷却水が漏洩する恐れがあります。

※冷却水温度が高温の場合、噴き出した冷却水でヤケドをしない様、注意してください。

- 点検を終えたら、ホースのリリースバルブを開き、圧力を抜いてから接続の逆順で外します。



一気に押すと、加圧された冷却水が噴き返す恐れがあります。  
リリースバルブの操作はゆっくりと、慎重に行ってください。



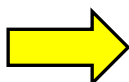
※冷却水が噴き返す場合があるので、リリースバルブは少しずつ押してください。

※キャップを閉める前に、不足した分の冷却水を補充してください。

※こぼれた分の冷却水は水道水で洗い流してください。

## ■使用方法 [ ラジエターキャップの点検 ]

- 点検するラジエターキャップのサイズに合わせて「2-A / 2-B」を選択してください。
- ラジエターキャップアダプターに「3～5」のアダプターを取り付け、ポンプASSYを取り付けます。



- ポンピング操作をし、加圧して下さい。ラジエターキャップの開弁圧を超えた時点で、アダプター穴部分より圧力が抜けます。キャップの開弁圧を点検します。

※一般的な国産車では「0.9～1.1kgf/cm<sup>2</sup>」で開きます。



一般的なラジエターキャップには最高圧力が刻印やラベルで記されています。

- 点検後は、リリースバルブを押し圧力を抜き、接続した手順とは逆の順に外します。
- 使用後は、本体を綺麗に清掃してからケースに収納してください。

## ■使用上の注意

※本製品は水冷エンジンの冷却水漏れの箇所を判断するための測定機器です。

※使用前には、本体やホース、アタッチメントに、破損や不具合が無いか確認してください。

※エンジン（冷却水）が冷めていない時の作業は、噴き返しやヤケドに注意してください。

※圧力のかけ過ぎに注意してください。一般的な国産車の目安として、最大  $1.3\text{kg}/\text{cm}^2$  程度に留めてください。

※過度に加圧すると冷却系の破損に繋がる恐れがあります。

※冷却水がヒーターコアから漏れている場合、圧力を加えると、室内に冷却水が漏れ出してくる恐れがあります。

※冷却水が不足している場合は、テスト前に不足分を補充してください。不足している場合、正確な点検が出来ない場合があります。

※圧力を抜く際、リリースバルブより冷却水が噴き返す場合があります。

※分解・改造は行わないでください。

※使用後は綺麗に清掃してからケースに収納してください。

※冷却水が衣服や塗装面に付着した場合は、速やかに流水で洗い流すか、拭き取ってください。

※冷却水には人体に有毒な成分が含まれています。眼や口に入らない様に、注意してください。

※テスト後に冷却水が噴き返したり、こぼれた場合、補充してからキャップを閉めてください。

※本来の目的、用途以外では使用しないでください。